

「絞扼性腸閉塞での腸管切除のリスク予測に関する網羅的解析」に関する研究

1. 研究の対象

2010年1月～2021年12月に当院で絞扼性腸閉塞の診断で手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

緊急手術の適応である絞扼性腸閉塞では、腸管切除が必要となる要因として血流障害の程度や発症からの時間が重要です。腸管壊死は生命予後に直結する重篤な病態であり、術前に腸管切除のリスクを予測することは臨床的に重要と考えます。そこで本研究では、絞扼性腸閉塞の診断で緊急手術を施行した症例において、診療録からの情報として身体の症状、血液検査、画像所見、手術所見を用いた腸管切除のリスク予測の可能性について検討します。本研究結果により、腸管切除を要する絞扼性腸閉塞の早期診断、腸管切除の回避、治療成績の改善に寄与する可能性があります。

研究期間は学校長承認後より、令和8年12月31日までの約4年間を予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録からの情報として患者さんの臨床病理学的背景、転帰

試料：なし

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

情報の利用については、研究用の ID 番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの（仮名加工情報）を作成します。作成時の情報については外科学講座 永生高広が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

資料 3

外科学講座 藤嶋 誠一郎

住所：埼玉県所沢市 並木 3-2

電話番号：04-2995-1637（対応時間：平日 9 時～16 時）